

# クイック暗算 じゅうなんとか × じゅうなんとか

小学校の時に習った九九を  $19 \times 19$  まで広げる  
これで、インド式のインド人に少し追いつける  
小学校で習った筆算を速くやる工夫 (2ステップ)

## ☆例 $14 \times 16 = 224$

◎考え方

$$\begin{aligned} 14 \times 16 &= 14 \times (10 + 6) \\ &= 14 \times 10 + 14 \times 6 \\ &= 14 \times 10 + (10 + 4) \times 6 \\ &= 14 \times 10 + 10 \times 6 + 4 \times 6 \\ &= 140 + 60 + 24 \end{aligned}$$

の3つの数字にわけて計算し、足し算する方法である。

筆算の場合

$$\begin{array}{r} 14 \\ \times 16 \\ \hline 84 \leftarrow 60 + 24 \\ \phantom{8}4 \phantom{0} \leftarrow \text{と考える} \\ \hline 224 \end{array}$$

## ☆ステップ 1

前の数の10倍と、  
後の数の1の位  $\times 10$  を足す

$$140 + 60 = 200$$

$14 \times 16$  140 60	$14 \times 16$  140 60 <hr/> 200	$14 \times 16$  140 60 <hr/> 200 24	$14 \times 16$  140 60 <hr/> 200 24 <hr/> 224
---------------------------------	--	--	---

## ☆ステップ 2

ステップ1の数に、それぞれの1の位同士をかけたものを足す。

$$200 + 24 = 224$$

↑  
こたえ

## ☆その他

- ・暗算になれてきたら、頭の中では、 $14 + 6$  として計算しても良い。(上の手書き部分の1の位の0を一つ省略して行くと速い)
- ・頭の中で「140たす60で、200。200と四六24で224！」などと唱えながらやると間違えにくい。
- ・この暗算は、「140円のジュースを16人分買うと2240円になる」場面など、身の回りで使うことが多い。